

# 文の意味表象の形成過程

藤木大介氏  
愛知教育大学講師

文を理解するためには、文を構成する単語の持つ情報から文法構造を把握し、かつ意味表象を構築しなければならない。意味表象の構築に関しては、2語からなる句の意味表象や、複数の文からなる文章の意味表象を対象にした研究が多く行われている。またその多くが完成した意味表象の構造を探るオフライン研究である。それに対し本研究は、複数の語からなる文の意味表象が構築されているプロセスをオンライン実験を通して検討しようとするものである。

日時：2011年11月30日（水）18:15 - 19:45（6コマ目の授業時間）

場所：名古屋大学全学教育棟・北棟406号室

問い合わせ：玉岡賀津雄 (ktamaoka@lang.nagpya-u.ac.jp)

事前予約不要・参加費無料

2011年度 名古屋大学大学院国際言語文化研究科

日本語教育学講座第18回講演会

大学院生のための言語研究方法論養成プロジェクト